平成28年度（2016）

履修の手引

奈良学園大学
NARAGAKUEN UNIVERSITY

保健医療学部
看護学科

平成28年度（2016）

履修の手引

奈良学園大学
NARAGAKUEN UNIVERSITY

保健医療学部
看護学科

建 学 の 精 神

高度な専門学術知識に裏付けられた実践力を有する有能な人材を教育・養成し、地域社会及び社会全体の発達・発展に貢献する

教　育　理　念

現実に立脚した学術の研究と教育を通じて、明日の社会を開く学識と実務能力を兼ね備えた指導的人材の育成を目指し、時代の進展に対応し得る広い視野と創造性をつちかい、誠実にして協調性のある心身ともに豊かでたくましい実践力を持った人材を養成する

教　育　目　標

保健医療学部

幅広い教養と豊かな人間性、国際性、変化に対応できる汎用的能力などをそなえ、「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、倫理性、協調性などを身につけた質の高い保険医療職者の育成を目的とする

奈良学園大学　教育の三つのポリシー

１．大学のポリシー

（１）アドミッションポリシー（admission policy　入学者受入方針）

①大学教育を受けるに相応しい基礎能力や体験を備え、本学での教育を通じて社会人としての一層の成長が期待できる学生を受け入れる。
②実践を重視した演習課題に、積極的にとりくむ意欲のある学生を受け入れる。
③地域社会との交流に関心を持ち、将来、社会全体の発達・発展に貢献する事に使命感を持つ学生を受け入れる。

（２）ディプロマポリシー（diploma policy　卒業認定・学位授与に関する方針）

本学は、所定の単位を修得し、以下のような「実践力」を身につけた学生に対して、その卒業を認定する。
①高度な学識と実務能力に基く実践力
②時代の進展に対応し得る広い視野と創造性をもつ実践力
③社会に貢献することのできる実践力

２．保健医療学部のポリシー

（１）アドミッションポリシー（admission policy　入学者受入方針）

人と自然を愛する心をもち、看護職に興味・関心のある人。また、確かな基礎的学力を有し、看護職者に必要な知識・技術を積極的に学び、地域社会、国際社会に貢献する意欲のある人。

（２）カリキュラムポリシー（curriculum policy　教育課程の編成・実施の方針）

①豊かな人間性、論理的な思考力、的確な判断能力を身につける教育
②自然や文化を大切にし、倫理性、社会性、国際的感覚を身につける教育
③主体的な体験や討論を通して自己の考えを確立し、それを豊かに表現する能力を身につける教育
④看護職に必要な高度な知識・技術、情報活用能力、コミュニケーション能力を身につける教育
⑤全人的な健康観に立ち、科学的、客観的な根拠（エビデンス）と、人間の主観性や固有の感性、人間関係を大切にする対話に基づき、探求心と想像力をもって、創造的な全人的ケアの実践ができる能力を身につける教育
⑥看護職として学際性を培い、社会のニーズや多様な変化に対応し、他職種と連携してチームで活動できる汎用的能力を身につける教育

（３）ディプロマポリシー（diploma policy　卒業認定・学位授与に関する方針）

①国際的な視点をもち、幅広い教養と豊かな人間性、変化に対応できる汎用的能力など確かな学士力を有することができる。

②看護職として個別的で多様な保健医療ニーズに倫理的配慮をもって応えることができる。
③人間愛に基づき「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、協調性などを備え、主体的に全人的ケアができる。
④学際性を培い、専門性を発揮しながら他職種と連携・協働し、チーム医療を推進することにより社会に貢献できる。

は　じ　め　に

この「履修の手引」は、学生諸君が４年間にわたって本学で学修し、授業を履修して単位を修得するうえで必要な事項をまとめた手引きです。

奈良学園大学では、学修に必要な教育科目として、数多くの講座を開設しています。学生諸君は、自分の目標や興味･関心に基づき、本学の定める一定の規則やルール（履修規程）に従って、履修する授業科目を選択し、時間割を編成してください。主体的に立案した履修計画に従って、授業を欠くことなく履修を完遂することが重要です。自己責任において計画を立て学修することは、大学教育の大きな柱の一つです。

学修においては一定の成果を修め、卒業認定に必要な単位を修得していかねばなりません。この「履修の手引」及びを熟読して、効果的な履修計画を立て、有意義な学習ができるよう期待しています。

平成 28 年度（2016） 学年暦及び行事予定表【保健医療学部】（１・２年次）

前 期

	日	月	火	水	木	金	土	行 事 予 定	
4月						1	2	**< 1 年次生 >**	
	3	4	5	6	7	8	9	3 日（日）	入学式
	10	11	12	13	14	15	16	4 日（月）	ガイダンス・健康診断・履修登録
	17	18	19	20	21	22	23	5 日（火）	前期授業開講・教科書販売
	24	25	26	27	28	29	30	8 日（金）～9 日（土）	新入生学外宿泊研修（１泊２日）
								29 日（金）	授業実施日
								< 2 年次生 >	
								4 日（月）	ガイダンス・健康診断・履修登録
								5 日（火）	前期授業開講・教科書販売
								29 日（金）	授業実施日
5月	1	2	3	4	5	6	7		
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30	31						
6月				1	2	3	4	18 日（土）	保護者懇談会
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30				
7月						1	2	18 日（月）	授業実施日
	3	4	5	6	7	8	9	22 日（金）	前期授業終了
	10	11	12	13	14	15	16	25 日（月）～28 日（木）	①【実習】早期体験演習
	17	18	19	20	21	22	23	29 日（金）	①【実習】早期体験演習（学内日）
	24	25	26	27	28	29	30		
	31								
8月		1	2	3	4	5	6	1 日（月）～6 日（土）	前期試験
	7	8	9	10	11	12	13	7 日（日）～9 月 30 日（金）	夏期休暇
	14	15	16	17	18	19	20	8 日（月）～9 日（火）	前期追試験手続き
	21	22	23	24	25	26	27	22 日（月）～23 日（火）	前期再試験手続き
	28	29	30	31				29 日（月）～9 月 3 日（土）	前期追・再試験
9月					1	2	3	2 日（金）	②【実習】基礎看護学実習Ⅱ（オリエンテーション）
	4	5	6	7	8	9	10	5 日（月）～30 日（金）	②【実習】基礎看護学実習Ⅱ
	11	12	13	14	15			15 日（木）～16 日（金）	成績配付・履修登録（１・２年次生対象）

平成 28 年度（2016） 学年暦及び行事予定表【保健医療学部】（１・２年次）

後 期

	日	月	火	水	木	金	土	行 事 予 定	
9月						16	17	５日（月）～30 日（金）	②【実習】基礎看護学実習Ⅱ
	18	19	20	21	22	23	24	15 日（木）～16 日（金）	成績配付・履修登録（１・２年次生対象）
	25	26	27	28	29	30		20 日（火）～21 日（水）	成績配付・履修登録（１・２年次生対象）
10 月							1	１日（土）	後期授業開講
	2	3	4	5	6	7	8	10 日（月）	授業実施日
	9	10	11	12	13	14	15	30 日（日）	学園祭（登美ヶ丘祭）
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	30	31							
11 月			1	2	3	4	5	１日（火）	創立記念日
	6	7	8	9	10	11	12	12 日（土）～13 日（日）	学園祭（三室祭）
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30					
12 月					1	2	3	22 日（木）	年内授業最終日
	4	5	6	7	8	9	10	23 日（金）～１月９日（月）	冬期休暇
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30	31		
1 月	1	2	3	4	5	6	7	10 日（火）	年明け授業開講
	8	9	10	11	12	13	14	14 日（土）～15 日（日）	全日休講（センター入試:三郷キャンパス入構禁止）
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30	31						
2 月				1	2	3	4	４日（土）	後期授業終了
	5	6	7	8	9	10	11	６日（月）～10 日（金）	後期試験
	12	13	14	15	16	17	18	13 日（月）～14 日（火）	後期追試験手続き
	19	20	21	22	23	24	25	15 日（水）～23 日（木）	①【実習】基礎看護学実習Ⅰ（2/15～17、2/20～22）
	26	27	28					11 日（土）～３月 31 日（金）	春期休暇
								18 日（土）・20 日（月）	再試験手続き（※１年次生は２/18 のみ）
								27 日（月）～３月３日（金）	後期追・再試験
3 月				1	2	3	4	27 日（月）～29 日（水）	成績配付（全学生対象）
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30	31			

平成 28 年度（2016） 学年暦及び行事予定表【保健医療学部】（３年次）

前 期

	日	月	火	水	木	金	土	行 事 予 定	
4月						1	2	**＜３年次生＞**	
	3	4	5	6	7	8	9	４日（月）	ガイダンス・健康診断・履修登録
	10	11	12	13	14	15	16	５日（火）	前期授業開講・教科書販売
	17	18	19	20	21	22	23	29 日（金）	授業実施日
	24	25	26	27	28	29	30		
5月	1	2	3	4	5	6	7		
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30	31						
6月				1	2	3	4	18 日（土）	保護者懇談会
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30				
7月						1	2	18 日（月）	授業実施日
	3	4	5	6	7	8	9	21 日（木）	前期授業終了
	10	11	12	13	14	15	16	25 日（月）～ 28 日（木）	前期試験
	17	18	19	20	21	22	23	29 日（金）	【実習】全体オリエンテーション
	24	25	26	27	28	29	30		
	31								
8月		1	2	3	4	5	6	１日（月）～３日（水）	【実習】各領域オリエンテーション
	7	8	9	10	11	12	13	１日（月）～２日（火）	前期追・再試験手続き
	14	15	16	17	18	19	20	４日（木）～６日（土）	前期追再試験
	21	22	23	24	25	26	27	10 日（水）	成績配付（３年次科目）
	28	29	30	31				10 日（水）	履修登録（３年次科目）
9月					1	2	3	１日（木）～２日（金）	【実習】領域別直前オリエンテーション
	4	5	6	7	8	9	10	５日（月）～３月３日（金）	【実習】各領域実習
	11	12	13	14	15			５日（月）～ 30 日（金）	履修登録期間（３年次生のみ）

平成 28 年度（2016） 学年暦及び行事予定表【保健医療学部】（３年次）

後 期

	日	月	火	水	木	金	土	行 事 予 定	
9月						16	17	５日（月）～３月３日（金）	【実習】各領域実習
	18	19	20	21	22	23	24	５日（月）	各領域実習開始日
	25	26	27	28	29	30		５日（月）～ 30 日（金）	履修登録期間（３年次生のみ）
10 月							1	30 日（日）	学園祭（登美ヶ丘祭）
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	30	31							
11 月			1	2	3	4	5	１日（火）	創立記念日・実習実施日
	6	7	8	9	10	11	12	12 日（土）～ 13 日（日）	学園祭（三室祭）
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30					
12 月					1	2	3	22 日（木）	年内授業最終日
	4	5	6	7	8	9	10	22 日（木）	年内領域実習終了日
	11	12	13	14	15	16	17	23 日（金）～１月９日（月）	冬期休暇
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30	31		
1 月	1	2	3	4	5	6	7	10 日（火）	年明け各領域実習開始日
	8	9	10	11	12	13	14	14 日（土）～ 15 日（日）	全日休講（センター入試:三郷キャンパス入構禁止）
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30	31						
2 月				1	2	3	4		
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28						
3 月				1	2	3	4	３日（金）	各領域実習終了日
	5	6	7	8	9	10	11	27 日（月）～ 29 日（水）	成績配付（全学生対象）
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30	31			

目　　次

1．教育課程（カリキュラム）
（1）教育課程（カリキュラム）について …… 15
（2）単位制について …… 15

2．履修登録
（1）履修登録の流れについて …… 16
（2）履修制限について …… 17
（3）履修登録の手順について …… 18
（4）シラバスの閲覧・検索について …… 20

3．授　業
（1）授業時間について …… 22
（2）休講について …… 22
（3）臨時休講について …… 22
（4）補講について …… 23
（5）出欠席について …… 23
（6）オフィス・アワーについて …… 24

4．試　験
（1）試験受験の心得について …… 25
（2）定期試験について …… 26
（3）論文（レポート）試験・提出について …… 26
（4）追試験について …… 26
（5）再試験について …… 27
（6）不正行為（カンニング）について …… 28

5．成　績
（1）成績評価について …… 28
（2）成績発表について …… 28
（3）成績通知書と修得単位について …… 29

6．卒業の要件
（1）卒業の要件について …… 29
（2）卒業所要単位一覧について …… 29

7．ＧＰＡ制度について
（1）ＧＰＡ制度導入の趣旨 …… 29
（2）ＧＰＡの算出式 …… 30

（３）ＧＰＡの算定基準 …… 30
（４）ＧＰＡの算出例 …… 30
（５）履修登録科目の変更 …… 31
（６）履修変更ができない科目 …… 31
（７）ＧＰＡ値の確認方法 …… 31

保健医療学部　規程関係

１．保健医療学部　看護学科　履修規程 …… 35

２．履修に関する留意点
（１）授業の形態 …… 38
（２）授業への出席 …… 38
（３）履修指導の体制 …… 38
（４）看護学実習科目の履修に関する留意点 …… 38
（５）再受験科目について …… 38
（６）課程選択に伴う履修上の留意点 …… 39
（７）課程選択の決定 …… 39

３．教育目標と教育課程編成の考え方
（１）教育目標 …… 40
（２）教育課程編成の考え方 …… 40
（３）教育課程全体の特色 …… 42
（４）教育課程の概要 …… 42

４．看護学実習の概要
（１）看護学実習の概要と開講時期 …… 47
（２）看護学実習要綱 …… 48
（３）看護学実習の評価 …… 48
（４）実習中の事故防止と対処 …… 48
（５）感染防止 …… 49

５．保健医療学部　看護学科　授業科目表 …… 50

６．保健医療学部　看護学科　課程選択別履修モデル …… 53

履修の手引

　この項には、学生諸君が奈良学園大学で学修していくうえで、必ず知っておかなければならない基本的な事項についての説明が記載されています。
　授業が始まるまでに、これらの事柄をよく理解しておいてください。

履　修　の　手　引

1．教育課程（カリキュラム）

（1）教育課程（カリキュラム）について

大学において開設される授業科目は、学部・学科の専門に関する科目と、幅広く深い教養を培う科目に分類されます。これらの授業科目を必修科目・選択必修科目・選択科目に分けたり、各年次に配当したり、一週間あたりの時間数を決めるなどして編成したものを**教育課程（カリキュラム）**といいます。

（2）単位制について

大学では、高等学校と違い「単位制」が大きな役割を持っています。

本学で開講している各授業科目には、それぞれに「単位数」が定められています。学生諸君は、単位数の定められた授業科目を履修し、その成績が合格点（60点以上）であれば、その所定単位は認定され、単位を修得したことになります。修得した単位数の履修区分ごとの合計が卒業に必要な単位数を満たし、かつ、在学期間が４年以上となった時点で卒業することができます。

単位の計算法

単位数については、文部科学省の定める大学設置基準によって、45時間の学修を必要とする内容を１単位とするとされています。ただし、ここで言う学修とは、授業時間に加えて、予習・復習及び研究等のための自学自習の時間を含みます。自学自習の時間を保証するために、大学では高等学校までと違って授業の入っていない時間帯があるのです。

以下、学修の典型的なパターンのいくつかを示します。なお、１回分の授業を１コマと数え、１コマ90分を2時間として計算します。

＜週１コマ・半期１単位の科目＞

●学修時間：45時間×１単位＝45時間

うち、授業時間：（前期15週×2時間）または（後期15週×2時間）＝半年間30時間

自学自習の時間：半年間15時間

授業30時間	自学自習 15時間

計45時間

└─１週間に1コマ2時間（90分）を15週

＜週１コマ・半期１単位（クォーター制）の科目＞

●学修時間：45時間×１単位＝45時間

うち、授業時間：（半期前半7.5週×２時間）または（半期後半7.5週×２時間）＝半年間15時間

自学自習の時間：半年間30時間

授業15時間	自学自習30時間

計45時間

└─１週間に１コマ2時間（90分）を7.5週

２．履修登録

大学では、授業を受講するにあたって、まず**履修登録**をしなければなりません。

履修登録をしていない科目を受講しても単位は認定されません。履修登録にあたっては、各自の学習計画に基づいて、十分に検討してください。

（１）履修登録の流れについて

履修計画の注意点

１．「履修の手引」をよく読み、履修のルール（履修方法や履修規程）をよく知ること。
２．「シラバス（講義概要）」をよく読み、授業の内容や概要をつかむこと。
３．将来の目標に合わせて、必要とする授業科目を選択すること。
４．担任との面談には必ず出席すること。
５．各自の成績通知書を確認し、結果をふまえて履修計画を立てること。
６．必修科目は必ず登録すること。
　　前年度の必修科目が修得できなかった場合は再履修すること。
７．選択科目についてもそれぞれの履修区分や単位修得条件について注意してください。
　　必修科目ではないからといって履修放棄したり、単位を落としたりしてはいけません。
８．卒業必要単位をギリギリ履修するのではなく余裕ある単位修得計画が必要です。

（2）履修制限について

履修できる授業科目数は、その授業科目の合計単位数で制限されており、学年ごとに履修登録可能な授業単位数の上限が決められています。この履修制限は、予習・復習等の自習時間を十分にとれるようにし、自ら学修を深めていってもらうためのものです。

履修制限の単位数は次表のように定められており、この単位数を超えて履修することはできません。

履修登録の際には、卒業までの履修計画と合わせて履修制限内で登録の科目を考えてください。

■保健医療学部　看護学科　履修制限単位

学　年	1年次		2年次		3年次		4年次	
学　期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	45		45		45		45	

（3）履修登録の手順について

1．　履修登録システムの起動

1　ブラウザを起動し、「CampusAvenue 教務サービス」の Web ページを開く。
http://soul.naragakuen-u.jp/car/student/student.jsp

2　ログインＩＤとパスワードを入力し、
［ログイン］ボタンをクリックする。

3　右段のバナー「履修登録」をクリックする。

2．　履修科目を選択する

1　画面左側にあるリンク「時間割からの登録」をクリックする。

2　履修したい科目名の左上にあるボックスをクリックし、チェックを入れる。
※シラバスの検索については、「シラバスの閲覧・検索について（p.20～21）」を参照すること。

3　画面左上のリンク「選択を終了」をクリックする。

※ この段階では履修登録内容を一時的保存しただけで、
履修登録は完了していません。

前 ＝前期科目　後 ＝後期科目　後 前半　後 後半　＝クォーター科目　通 ＝通年科目

履修形態

必　＝必修科目　（必ず履修し、単位を修得しなければならない）
選　＝選択科目　（履修する／しないを選択できる）

３．　履修科目を確認する

1　事前に作成していた時間割表と比較し、間違いがないか確認する。

【間違いがない場合】

1　画面左上の[申告を登録する]ボタンをクリックする。

※ この操作によって履修登録の申請が完了します。

2　画面右上の[戻る]ボタンをクリックする。

※ この画面で「履修登録エラー」が表示された場合、同画面中央のリンク「履修修正へ」をクリックし、履修科目を修正します。　リンク「エラー確認」をクリックすると、エラー箇所がわかります。

【間違いがあり、修正する場合】

1　画面左上の[他の講義も選択する]ボタンをクリックし、前頁「２．履修科目を選択する」の手順[２]・[３]に従って履修科目を選択する。

４．　履修登録作業を終了する

1　画面右上の[ログアウト]ボタンをクリックする。

（４）シラバスの閲覧・検索について

１．　履修登録システムの起動

1　ブラウザを起動し、「Campus Avenue 教務サービス」の Web ページを開く。
http://soul.naragakuen-u.jp/car/student/student.jsp

2　ログインＩＤとパスワードを入力し、
[ログイン]ボタンをクリックする。

3　右段のバナー「履修登録」をクリックする。

２．　シラバスを閲覧する

1　画面左側にあるリンク「時間割からの登録」をクリックする。

2　履修申告（時間割）画面が表示されます。

＜履修申告（時間割）画面＞

3　科目名のリンクをクリックすると、シラバスの詳細が表示されます。

＜シラバス詳細画面＞

【 注意 】
時間割表の時間割名がリンクになっているのは、シラバスの公開期間中だけです。
シラバスの公開期間が過ぎると、時間割名のリンクは解除されます。

4　「閉じる」ボタンをクリックすると，履修申告（時間割）画面に戻ります。

３．授　業

（１）授業時間について

１回の授業時間は90分です。通常、月曜日～金曜日は１～５時限で、土曜日１～２時限で行います。

校時表

時　限	時　　間
1	9：00～10：30
2	10：40～12：10
昼　　食	
3	13：00～14：30
4	14：40～16：10
5	16：20～17：50
6	18：00～19：30

（２）休講について

大学の事情（入学試験等）や担当教員のやむを得ない理由（病気、出張等）により、休講になることがあります。

休講通知は、原則として１週間前に掲示します。ただし、急な事情のときは、やむを得ず当日に掲示されることもありますので、登校時には常に掲示板を確認するようにしてください。

また、休講の掲示もなく、授業開始時刻から30分過ぎても担当教員が来室しない場合は、大学事務室に連絡して指示を受けてください。

（３）臨時休講について

下記のア及びイの場合は、臨時休講となります。学生は各自で情報を的確に収集し、それぞれの判断で下記の定めに従って行動してください。その際、大学への問い合わせはしないでください。

ア．交通機関ストライキの場合

下記に示すいずれかの交通機関がストライキを行った場合、次の時限が休講となります。

①午前７時の時点で実施されている場合：午前の授業（１・２時限目）を休講とする。

②午前10時の時点で実施されている場合：午後の授業（３・４・５・６時限目）も休講とする。

鉄道会社	対　象　に　な　る　路　線
近　鉄	全　線

イ．気象警報が発表された場合

対象地域	対象となる気象警報の種類
奈良県北西部又は大阪府	特別警報・暴風警報

上記警報が発令された場合、次の時限が休講となります。ただし**大雨洪水警報は対象外**です。

①午前７時の時点で警報が発表されている場合：午前の授業（１・２時限目）を休講とする。

②午前10時の時点で警報が発表されている場合：午後の授業（３・４・５・６時限目）も休講とする。

交通機関のストライキ及び特別警報・暴風警報発表に伴う授業の休講措置について

スト実施及び特別警報・暴風警報発表時刻	授業の措置
ＡＭ７：00 以前に解除	休講しない
ＡＭ 10：00 までに解除	午後（3・4・5・6時限目）から授業
ＡＭ 10：00 を過ぎても解除されない	全日休講

※通学途中、通学が危険かつ困難となった場合は、各自の判断で危険等を回避したのち、大学事務室に届け出てください。

（4）補講について

休講等によって授業時間数が規定時間数に満たない場合に、補講を行うことがあります。補講の日程・教室・時間等は、全て掲示板で指示します。

（5）出欠席について

授業は勿論のこと、大学行事への参加は学生の本分です。そのため、次のようなやむを得ぬ理由で授業を欠席する場合は、大学事務室へ申し出て「公欠届」、「公欠願」及び「長期欠席届」の手続きを行ってください。ただし、公欠願が認められるのは、１つの授業科目につき、原則３回までです。

なお、公欠を許可された学生は、公欠届または公欠願を、登学次第、速やかに提出し、許可を得、当該授業科目担当教員に提出してください。

欠席理由	届の種類	必要書類等	手続先
交通機関の事故・ストライキ等	公欠届	遅延証明書等と印鑑	
単位互換協定大学試験の受験	公欠届	印鑑	
警報発表に基づく欠席	公欠届	通学証明書・遅延証明書等と印鑑	
お葬式・通夜 〔父母（養父母を含む）・祖父母・実兄弟姉妹)〕	公欠届 （忌引）	会葬御礼等の書類と印鑑 〔父母（養父母を含む）３日以内・祖父母１日以内・実兄弟姉妹２日以内〕	
災害等	公欠届 （災害等）	官公庁による被災証明書と印鑑	
教育実習・実習に係る事前訪問	公欠届 （実習関係）	印鑑	
国、県または本大学を代表して、諸行事に参加	公欠願 （特別）	印鑑	
学校において予防すべき感染症（学校保健安全法施行規則第 18 条に規定）	公欠届 （感染症）	治癒証明書 **（本学ホームページからダウンロード）**	
本学が認めるボランティア活動に参加	公欠願	印鑑	（注１）
本学課外活動において公式試合及び行事等に参加	公欠願	事前にスポーツ振興課に届出ておくこと（同好会は対象外）	（注１）
就職試験等を受験するとき	公欠願	企業が発行した就職試験の受験を証明するもの	
病気・怪我等による１週間以上の長期欠席	欠席届	医師の診断書と印鑑	

（注１）実習期間中の公欠は認めません。

（６）オフィス・アワーについて

オフィス・アワーとは、教員が指定した曜日・時間帯に学生が自由に研究室を訪れ、授業内容・学修上の問題等について質問や相談ができる制度です。
各教員が指定した曜日・時間帯は、新学期当初に掲示します。授業担当の教員を始め、多くの教員に、授業や学生生活に関することなどを相談してください。
なお、相談に際してはマナーを心がけ、有効に活用してください。

【学校で予防すべき感染症について】

学校において予防すべき感染症（第２種）の種類と出席停止期間の基準が決まっています。
（学校保健安全法施行規則第18条・第19条）
これらの感染症にかかった場合は、以下の手続を取ってください。

感染症名	出席停止期間の基準
インフルエンザ	発症後５日を経過し、かつ、解熱後２日を経過するまで
百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適切な抗菌療法が終了するまで
麻疹（はしか）	解熱後３日を経過するまで
風疹	発疹が消失するまで
水痘（みずぼうそう）	すべての発疹が痂皮化するまで
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後５日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消退した後２日を経過するまで
結核	感染のおそれがないと認められるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	感染のおそれがないと認められるまで
その他	◎学校において予防すべき感染症第一種：治癒するまで ◎学校において予防すべき感染症第三種：医師において感染のおそれがないと認められるまで

※出席停止の期間は、学校医、その他の医師において、感染のおそれがないと認めたときは、この限りでない。

４．試　験

定期試験、論文（レポート）試験、実技試験、追試験及び再試験があります。なお、この他に担当者の判断で小テスト等の臨時試験を実施する場合もあります。

（１）試験受験の心得について

受験に際しては、次の注意事項を厳守してください。

１）学生証を机上に置き、公正な態度で受験すること。
２）学生証･筆記用具･時計等の許可された物品以外は、すべてかばんの中に入れる。
３）携帯電話は電源を切り、かばんの中にいれる。
４）試験開始後20分が経過した場合には入室することはできない。また、試験開始後、30分が経過するまでは退室することはできない。
５）出席不良等で受験停止を命じられている者は、受験することができない。
６）履修登録をしていない科目は、受験することができない。
７）質問がある時は、手を挙げて試験監督者に知らせる。
８）許可された物以外のものが机上または机の中にある時は、不正行為とみなす場合がある。また、物品の貸借は認めない。
９）解答用紙を試験場外に持ち出した場合は、当該試験を無効とする。
10）試験中に不正行為を行った者は、厳しい処分を科す。

試験当日、学生証を忘れた場合

大学事務室付近の自動証明書発行機で『仮学生証』（100円）を購入し、試験科目名、試験教室を記入して、机上に置くこと。

※『仮学生証』は発行当日のみ有効
※年間10枚のみ発行
※使用後は教務課に必ず返却すること

（２）定期試験について

定期試験とは期間を定めて行う試験のことであり、試験期間は原則として以下の通りです。

ア．　前期試験　８月上旬から（１・２年次）、７月下旬から（３年次）

イ．　後期試験　２月上旬から

試験期間は毎年度、学年暦によって決定されます。

定期試験の時間割表は､試験の１週間前までに２号館１階掲示板に掲示します。

試験教室は通常授業の教室とは異なる場合があります。試験教室についても、試験の１週間前までに２号館１階掲示板に掲示します。

（３）論文（レポート）試験・提出について

授業科目によっては、論文（レポート）試験や実技試験によって成績評価を行う場合があります。**これらは定期試験の代わりとなるものですから、提出期限や条件は厳格に守ってください。**なお、論文（レポート）試験や実技試験は、担当教員が直接授業中で指示する場合と、掲示板を通して指示する場合があります。

また、試験とは別に、授業担当者からレポート課題が課せられることがあります。この場合、担当教員が授業中に直接指示します。

提出期限	指定された提出期日・時刻は厳守することが必要です。 **締切後の提出は一切、受理できません。**
提 出 先	指定された所へ提出してください。 （指定された提出先以外では受理できません） ①担当教員 ②授業時間中もしくは授業担当者の研究室 ③大学事務室窓口（レポート提出ＢＯＸ）
受付時間	◎平日　午前　９：00～12：00 　　午後　１：00～４：00 ◎土曜　午前　９：00～12：00 **郵送では一切、受理できません。** この時間内でも特に担当教員の締切時刻がある場合は、その締切時刻以降は一切、受理できません。

（４）追試験について

追試験とは、やむを得ない正当な理由によって定期試験当日に受験できなかった学生又は論文（レポート）試験でレポートを提出することができなかった学生に対して定期試験期間後に実施する試験のことをいいます。

追試験を希望する場合は、理由を証明する書類を添えて期間内に大学事務室に申し込んでください。

追試験の日程・試験教室については、２号館１階掲示板に掲示します。

欠席理由	証　明　書	備　　考
疾病等 （病気・怪我等）	医師の診断書	家族の病気の付き添い等は認めません。
忌引	死亡に関する公的証明書 （写しでも可）	父母（養父母を含む）３日以内・祖父母１日以内・実兄弟姉妹２日以内。 法事による欠席は認めません。
就職試験	企業等が発行した就職試験受験を証明するもの	会社訪問、セミナー、研修等は認めません。
交通障害	遅延証明書・事故証明書	**20 分以内の遅延は認めません。** バイク、マイカー使用に起因する交通事故及び交通渋滞による遅刻は認めません。
災害（地震･台風･火災・水害等）	官公庁による被災証明書	本人又は家族の居住地が被災した場合に限ります。
その他（本人の不注意によらない理由であること）	公的な証明書	事前に判明している場合は大学事務室に問い合わせてください。資格試験等は認められません。

追試験を受験するためには、上表のように、当該試験を受験できなかったことが公的な証明書により明確に証明されなければなりません。例えば、診断書に証明されている日時が試験日時と一致しない場合は、受付できませんので注意してください。

公的な証明書が添付されていなければ、理由の如何を問わず、追試験を受験することができません。例えば、風邪などにより、自宅で療養していた場合においては、医師の診断書がないために受付できません。必ず医師の診断を受けておくことが必要です。

忌引、就職試験、災害などによる欠席において遠隔地にいた場合は、往復のための所要日数も考慮しますので大学事務室に申し出てください。

（5）再試験について

再試験とは、試験等で不可となった学生に対して、次の実施要領に従って実施する試験のことをいいます。

1．目的

再試験等とは、履修登録を行った科目の単位を修得することができなかった学生を対象とする試験である。

2．受験範囲

試験等の結果、前期・後期で「不可」となった科目について、各学期末に受験することができる。

3．再試験等を許可される科目

担当教員が受験を認めた科目。

4．受験手続き

①受験希望者は期日内に「再試験願」を大学事務室に提出しなければならない。

②再試験料は１科目1,000円とする。

③再試験時間割は掲示により発表される。

（6）不正行為（カンニング）について

試験中の次の行為は、不正行為とみなします。

1）カンニングペーパーまたはこれに類似するものを試験中に所持または使用すること。
2）他人に受験させ、または他人の代わりに受験すること。
3）他人の答案をのぞき見することまたは故意に見せること。
4）答案用紙を交換すること。
5）持込みを許可されていない物品を参照すること。
6）他の受験者と私語をすること。
7）物品の貸借をすること。
8）試験監督者の指示に従わないこと。
9）その他不正行為を疑われるような行為をすること。

試験中に不正行為をした者については、当該学期に履修登録した**全授業科目の単位を無効**とします。ただし、演習科目・実技科目の単位についてはこの限りではありません。

5．成　績

（1）成績評価について

成績は100点を満点とし、60点以上を合格とします。履修した科目の成績評価は筆記試験・論文・レポート・実技テストその他、授業担当者の定める評価基準により行われます。

成績通知は科目ごとに、次の評価によって発表します。

	点　　数	評　価	成績通知書	成績証明書	単　　位
5段階評価	90点～100点	秀	秀	秀	単位認定（修得）
	80点～ 89点	優	優	優	
	70点～ 79点	良	良	良	
	60点～ 69点	可	可	可	
	0点～ 59点	不可	不可	表示しない	
	評価不能	不可	不可	表示しない	単位不認定(不修得)

（2）成績発表について

成績発表は、原則として、学期末（前期末又は後期末）に成績通知書を学生個人に配付することによって行います。成績発表の日程については、学年暦又は掲示板で確認してください。

また、**成績に関する問い合わせは、成績発表後２週間以内**に大学事務室に申し出て、「成績評価問い合わせ票」に必要事項を記入・捺印のうえ提出してください。**電話での問い合わせは受け付けません。**

（３）成績通知書と修得単位について

学期末の成績通知書には、その学期に受講した科目の成績評価（秀・優・良・可・不可）と、入学年度からの単位修得（合格）した科目の成績評価を示しています。

また、成績通知書には、履修区分別の単位修得表も掲載されています。指定された科目群の中から一定の単位を修得する必要がありますので、各自の成績表と比較して、卒業に必要な科目が何かを知るうえでの参考にしてください。

※注意

①前期の成績通知書
- **○前期開講科目・・・確定した成績評価**
- **○集中開講科目・・・確定した成績評価（８月中に授業が終了した科目のみ）**

②後期の成績通知書
- **○前期開講科目・・・前期に確定した成績評価**
- **○通年科目・・・・・前期と後期の成績をもとに最終的に確定した成績評価**
- **○後期開講科目・・・確定した成績評価**
- **○集中開講科目・・・確定した成績評価**

※成績評価は、秀・優・良・可・不可で示す。

６．卒業の要件

（１）卒業の要件について

大学を卒業する要件は、大学設置基準で定められています。

本学では、卒業するために次の条件を満たす必要があります。

ア．４年間以上の在学（休学期間を除く）

イ．本学保健医療学部が定める卒業に必要な科目、並びに卒業に必要な単位数以上の修得

（２）卒業所要単位一覧について

共通教育科目			専門基礎科目			専門科目			合計
必修	選択	小計	必修	選択	小計	必修	選択	小計	
10	15	25	21	3	24	72	4	76	125

７．ＧＰＡ制度について

（１）ＧＰＡ制度導入の趣旨

本学では成績評価に加えて、ＧＰＡ（Grade Point Average）を導入しています。

ＧＰＡとは成績評価方法の１つで、履修科目の成績の平均を数値化したもので

す。また、ただ単位を修得すればいいということではなく、その質（成績の評価）も重要となるため、学生の皆さんが自主的・意欲的に学修し、自分の学修成果を正確に把握して、計画的な履修ができるよう制度を設けています。

（２）ＧＰＡの算出式

履修登録科目のうちＧＰＡ対象科目について、各科目の　成績評価（秀・優・良・可・不可）に応じて５段階（４、３、２、１、０）に分けて数値化した評価点（Grade Point）に単位数を掛けたものを総合計し、履修登録科目の総単位数で割ることにより算出します。

$$\text{ＧＰＡ} = \frac{\text{［(対象科目の単位数）×（その科目の評価点)］の合計}}{\text{履修登録科目の単位数の合計}}$$

※小数第３位を四捨五入

（３）ＧＰＡの算定基準

		評　価	得点等	評価点 (Grade Point)
判　定	合　格	秀	100 ～ 90 点	4
		優	89 ～ 80 点	3
		良	79 ～ 70 点	2
		可	69 ～ 60 点	1
	不合格	不可	0 ～ 59 点	0
無判定	その他	認定	他大学又は短期大学等で修得し、本学部で認定された単位	－

（４）ＧＰＡ 算出例

授業科目名	単位数	成　績	評価点（ＧＰ）	単位数×評価点（ＧＰ）
感性・イメージ表現	2	秀	4	8
看護学概論	2	優	3	6
保健医療学概論	1	良	2	2
奈良学	2	不可	0	0
看護理論	1	優	3	3
人体構造学Ⅰ	1	良	2	2
計	9		12	21
	［単位数×評価点（ＧＰ）の合計］÷［単位数の合計］＝ＧＰＡ 21　÷　9　＝ 2.33			

（5）履修登録科目の変更

ＧＰＡ対象科目を履修すると履修放棄等により成績評価が「不可」となった場合にも、０ポイントとして算出されて、ＧＰＡ値が下がります。そこで、履修登録変更期間中に所定の理由書を提出し、履修登録科目の変更を申告することができます。ただし、変更の理由によっては、認められない場合もあります。

また、**変更前に出席していなかった回については、欠席扱いとなります**ので、よく考えたうえで申告をしてください。

履修登録科目の変更手続きは、下記期間中に所定の理由書に記入し、大学事務事務室に申告してください。

◎前期または後期履修登録後の履修科目変更期間：第１週目の授業終了時まで ◎前期または後期履修登録後の履修科目取消期間：第６週目の授業終了時まで （クォーター科目の履修科目取消は第３回目の講義終了時まで）

（6）履修変更ができない科目

- 必修科目
- 履修制限科目（定員があり、それを充足した科目）

（7）ＧＰＡ値の確認方法

ＧＰＡ値は成績・履修状況一覧表で確認できます。ＧＰＡ値には、学期ＧＰＡと累積ＧＰＡがあり、学期ＧＰＡは当該学期のＧＰＡ値を、累積ＧＰＡは通算したＧＰＡ値を示します。

保健医療学部　規程関係

1．保健医療学部　看護学科　履修規程

（総　　則）

第１条　本学学則第13条第３項の規定に基づき、保健医療学部看護学科（以下「本学科」）の教育課程及び授業科目の履修については、この規程の定めるところによる。

（卒業資格）

第２条　本学科を卒業するためには、４年以上在学し、125単位以上を修得しなければならない。

２　看護師・保健師国家試験受験資格を得るためには、135単位以上を修得しなければならない。

３　看護師・助産師国家試験受験資格を得るためには、148単位以上を修得しなければならない。

（授業科目の区分）

第３条　授業科目は、これを共通教育科目、専門基礎科目及び専門科目に区分する。

２　共通教育科目は、これを基礎教養科目、共生教養科目、奈良・国際科目、情報教養科目及び、キャリア形成科目に区分する。

３　専門基礎科目は、これを健康の理解と区分する。

４　専門教育科目は、これを看護学の基本、看護学の展開、看護学の統合と発展、公衆衛生看護学及び助産学に区分する。

（授業科目の履修）

第４条　本学科授業科目表の各授業科目のうちから、次の各号の科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

（１）	共通教育科目	25単位以上
（２）	専門基礎科目	24単位以上
（３）	専門科目	76単位以上

（単　　位）

第５条　各授業科目の単位数は、45時間の学修を必要とする内容をもって１単位とする。

２　各授業科目については、15時間の授業をもって１単位とする。ただし、導入基礎科目、外国語科目及びスポーツ関連科目のうち実技については、30時間の授業をもって１単位とする。

（配当年次）

第６条　各授業科目に、それぞれ配当年次を指定するものとし、その指定された年次以降において履修することができる。

（授業科目の履修制限）

第７条　授業科目については、原則として、年間45単位を超えて履修することができない。

（履修登録）
第８条　履修登録は、各学期始めに年２回行わなければならない。
（履修登録の制限）
第９条　授業科目の教員、教室等の都合により、履修登録者の人数、資格等について制限を設けることがある。
２　同時限に開講される授業科目は、１科目しか登録することができない。
（再登録）
第10条　単位を修得した授業科目は、再登録をすることができない。
２　単位を修得することができなかった授業科目は、第７条に定める履修制限内において再登録をすることができる。
（履修登録の変更）
第11条　履修登録は、正当な理由がなければ、変更、追加または取り消しをすることができない。
２　学部長が教授会に諮り、特に認める場合は、前項の規定を適用しない。
（授業科目の開講）
第12条　授業科目は、教員、履修者等の都合により、毎年度開講されない場合がある。
（授業の組分け）
第13条　履修登録者数が多数に上る授業科目は、適宜に組分けを行い、時限を定めることがある。
（単位の認定）
第14条　担当教員は、授業科目を履修した学生に対し、試験、論文、研究報告等（以下「試験等」という）、または平素の履修状況（学習態度等）により学修の成果を評価して単位を与える。
２　各授業への出席が授業時間の３分の２（実習においては５分の４）に満たない場合は再履修とする。
（単位認定を受ける資格）
第15条　次の各号のいずれかに該当する場合は、前条による単位の認定を受けることができない。
（１）　授業料その他諸納入金が未納であるとき
（２）　履修登録をしていないとき
（試験等の成績評価）
第16条　試験等の成績評価は、次の基準によって評語で示される。
（１）　100点から90点まで　秀
（２）　89点から80点まで　優
（３）　79点から70点まで　良
（４）　69点から60点まで　可
（５）　59点以下　不可（不合格）
（受験上の注意）
第17条　学生は、試験を受けるに際しては、別に定める注意事項を厳守しなければならない。

（再試験等）
第18条　試験等で授業科目が不合格となった者は、再試験等を受けることができる。
２　再試験等の実施については、別に定める。
３　再試験等で合格した者の成績評価は、60点（可）とする。
（追試験等）
第19条　病気またはやむを得ない理由により所定の日時に受験できなかった者は、追試験等を受けることができる。
２　追試験等の実施については、別に定める。
３　追試験等の結果の成績は、一割減とする。

附　則
この規程は、平成26年４月１日から施行する。

２．履修に関する留意点

（１）授業の形態

授業は、その特性によって、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行います。授業は、演習や実習などの体験的学習を多く採用し、必要に応じて多様なメディアを利用して行います。演習及び実習等では適宜、数名の小グループを編成して行います。

（２）授業への出席

各授業への出席が授業時間の３分の２（実習科目においては５分の４）に満たない場合は、再履修とします。

遅刻及び早退について、原則として、30分未満の場合は３分の１回の欠席扱いとし、30分以上の場合は１回の欠席扱いとします。

（３）履修指導の体制

各学年に専任教員の担任を置き、個別の履修指導を行います。また、学習、学生生活、課外活動、進路等についても支援を行います。担任は、定期的に会議を開催し、情報の共有や意見交換等を行い、必要に応じて全専任教員に対して問題提起や情報提供を行い、学生の主体的な学習環境や生活環境の向上に努めます。

（４）看護学実習科目の履修に関する留意点

看護学実習科目は、次の要件を満たさなければ履修することができません。

①基礎看護学実Ⅱを履修するためには、次の科目を修得していること。

「看護学概論」「基礎看護技術演習Ⅰ」「看護理論」「早期体験演習」「基礎看護学実習Ⅰ」

また、次の科目を履修中であること。

「看護過程演習」「基礎看護技術演習Ⅱ」「基礎看護技術演習Ⅲ」「ヘルスアセスメント」

②３年次後期の各看護学実習科目を履修するためには、３年次前期までに開講される専門基礎科目及び専門科目の必修科目をすべて修得していること。

③統合看護学実習を履修するためには、３年次後期までのすべての領域別実習の単位を修得していること。

（５）再受験科目について

試験に合格しなかった者が、翌年度においてその授業科目の単位を修得しようとするときは、改めて履修届を提出し、再履修しなければなりません。ただし、授業科目（原則的に選択科目は除く）によっては、試験に合格しなかった者に対し、翌年度にその試験のみを受け合格することによって当該科目の単位を与えることがあります（ただし、成績の評価は60点を上限とし、受験回数は１回のみとします。）この授業科目を「再受験科目」といい、再受験科目の取り扱いをする

授業科目は、次年度の初めに示します。

ただし、再受験科目の取り扱いをしない科目がありますし、授業への出席が授業時間の３分の２以上ないと再受験科目となっても再受験はできません。

（６）課程選択に伴う履修上の留意点

①「看護師・保健師課程選択」に関する履修上の留意点

「看護師・保健師課程選択」は、看護師課程の履修要件に加え、専門基礎科目の健康の理解に関する科目群の選択科目のうち「保健統計（２単位）」及び「保健医療福祉行政論（２単位）」を修得し、公衆衛生看護学に関する科目群の全ての選択科目７科目13単位を修得することにより、看護師及び保健師国家試験受験資格が得られます。

また、保健師免許を取得後、申請により養護教諭二種免許状を取得するためには、共通教育科目のうち本学で必修となっている基礎教養科目群の「英会話Ⅰ（１単位）」「英会話Ⅱ（１単位）」「健康スポーツ（理論）（１単位）」「健康スポーツ（実技）（１単位）」、情報教養科目群の「情報機器の操作（２単位）」、選択科目のうち基礎教養科目群の「日本国憲法（２単位）」の合計８単位を修得しておく必要があります。

②「看護師・助産師課程選択」に関する履修上の留意点

「看護師・助産師課程選択」では、看護師課程の履修要件に加え、助産学に関する科目群の全ての選択科目13科目27単位を修得することにより、看護師及び助産師国家試験受験資格が得られます。

（７）課程選択の決定

保健医療学部看護学科の学生は、入学者全員が看護学を学び、看護師国家試験受験資格の取得を可能としています。また、３年次に課程選択制を導入することにより、「看護師課程選択」、「看護師・保健師課程選択（20名）」、「看護師・助産師課程選択（女性のみ10名）」のいずれかを選択します。「看護師・保健師課程選択」は保健師国家試験受験資格を、「看護師・助産師課程選択」は助産師国家試験受験資格を同時に取得することが可能です。

課程選択の決定は、２年次の終わりに希望調査を行い、３年の始業時に希望者に対して試験、面接を行い、それらの結果と2年次までの成績を考慮して判定します。

３．教育目標と教育課程編成の考え方

以下の「（１）教育目標」「（２）教育課程編成の考え方」「（３）教育課程全体の特色」「（４）教育課程の概要」の内容をよく読んで、明確な目標をもって履修する授業科目を考え、履修登録を行い授業に臨んでください。

（1）保健医療学部看護学科の教育目標

保健医療学部看護学科では、知識や技術の修得のみならず、看護のフィロソフィの獲得を目指し、看護の役割の拡大や質の変化に対応でき、チーム医療の一員として他職種と協働して全人的ケアの提供ができる質の高い看護職者（看護師、保健師、助産師）を育成することを目標としています。

（2）教育課程編成の考え方

上述の教育目標に基づき以下のようなカリキュラムポリシーを掲げ、そのポリシーに相応し、看護師、及び希望者には保健師または助産師の国家試験受験資格が取得できるように保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める要件を充足した教育課程を編成しています。

＜カリキュラムポリシーとそれに相応する教育課程＞

①豊かな人間性、論理的な思考力、的確な判断能力を身につける教育

主として、共通教育科目の基礎教養科目群の語学、人文科学、社会科学、自然科学、健康スポーツに関連する豊富で幅広い科目を自らの興味・関心に従い主体的に選択受講することにより身につける。

②自然や文化を大切にし、倫理性、社会性、国際的感覚を身につける教育

主として、共通教育科目の基礎教養、共生教養及び奈良・国際の各科目群の豊富で幅広い科目を自らの興味・関心に従い主体的に選択受講することにより身につける。特に、国際的な視点や国際感覚を身につけた人材を養成するために、共通教育科目の必修科目として「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を通して国際的なコミュニケーション能力を身につけ、「奈良学」を通して自国の文化を理解するとともに奈良の国際色豊かな文化・芸術、仏教文化などを学ぶ。さらに専門基礎科目の必修科目として「保健医療学概論」を通して全人的ケアに主眼をおいた保健医療学について諸外国の現状と実践例を学び、専門科目の必修科目として「国際保健医療看護論」を通して保健・医療・看護について国際社会の動向を知り、看護職者としてグローバルな視点で保健医療活動ができる基礎的能力を身につける。また、学生が自らの興味・関心によって主体的に国際的な視点や国際感覚を身につけるための選択科目も豊富に配置している。共通教育科目では、奈良・国際科目群の「国際経済事情」「文化コミュニケーション」「文化芸術交流論」「文化芸術交流演習」をはじめ、基礎教養科目群の「文化人類学」「外国史」、共生教養科目群の「生活と環境」、専門科目では「国際保健医療看護演習」をはじめ「保健医療英語Ⅰ」「保健医療英語Ⅱ（文献購読）」を配置している。

③主体的な体験や討論を通して自己の考えを確立し、それを豊かに表現する能力を身につける教育

主として、共通教育科目の基礎教養及びキャリアの各科目群の豊富で幅広

い科目を自らの興味・関心に従い主体的に選択受講することにより身につける。

また、専門科目のグループワーク、臨地実習、卒業研究などを通して培う。

④看護職に必要な高度な知識・技術、情報活用能力、コミュニケーション能力を身につける教育

専門基礎科目の健康の理解に関する科目群、専門科目の看護学の基本、看護学の展開、看護学の統合と発展、公衆衛生看護学及び助産学に関する各科目群の科目を主体的に段階的に受講することにより身につける。特に情報活用能力について、主として、基礎的な能力は共通教育科目の情報教養科目群の科目を主体的に受講することにより培い、応用的能力は専門科目の演習科目などにおいて必要に応じて多様なメディアを高度に利用することにより培う。また、コミュニケーション能力について、主として、基礎的な能力は共通教育科目のコミュニケーション関連科目を主体的に受講することにより身につけ、実践的応用的能力は専門基礎科目の「早期体験実習」及び専門科目の臨地実習などを通して身につける。

⑤全人的な健康観に立ち、科学的、客観的な根拠（エビデンス）と、人間の主観性や固有の感性、人間関係を大切にする対話に基づき、探求心と想像力をもって、創造的な全人的ケアの実践ができる能力を身につける教育

専門基礎科目の健康の理解に関する科目群及び専門科目の看護学の統合と発展に関する科目群の科目を主体的に段階的に受講することにより身につける。

特に、本学部が目指す全人的ケアの実践ができる能力について、まず、1年次必修科目の「保健医療学概論（専門基礎科目）」及び「チーム医療論」において、看護学、医学、健康諸科学の専任教員及び当該分野の専門家がオムニバス形式で担当することにより、その基本的な考え方と枠組について学ぶ。その後、全人的ケアを実践するための応用的能力について、主として、専門基礎科目の健康の理解に関する科目群の「ヘルスプロモーション論」「心身医療論」、「カウンセリング論」、専門科目の看護学の統合と発展に関する科目群の「行動変容アプローチ」「チーム医療演習」「ターミナルケア論」「統合看護学実習」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」などを主体的に受講することにより培う。

⑥看護職として学際性を培い、社会のニーズや多様な変化に対応し、他職種と連携してチームで活動できる汎用的能力を身につける教育

主として、学際性は共通教育科目の基礎教養科目群及び専門基礎科目の健康の理解に関する科目群の科目、社会のニーズや多様な変化に対応する能力は共通教育科目の共生教養、国際教養、情報教養、キャリア形成の各科目群の科目を主体的に受講することにより身につける。他職種と連携してチーム

で活動できる基礎的な能力や資質は、専門科目の看護学の基本に関する科目群の1年次後期必修科目の「チーム医療論」で学ぶ。また、チームで活動するための実践力や汎用的能力は、看護学の統合と発展に関する科目群の4年次後期必修科目の「チーム医療演習」で身につける。

（3）教育課程全体の特色

教育課程編成の考え方をふまえ、全学（すべての学部）に共通する「共通教育科目」と、看護学科独自の「専門基礎科目」及び「専門科目」を設け、上述の教育目標が達成できるようなカリキュラムを構築し、学生一人ひとりの自主性と自立を支援するための充実した教育プログラムを展開しています。

「共通教育科目」は、語学、人文科学、社会科学、自然科学、スポーツに関連する科目を幅広く配置した基礎教養科目群、本学の教育・研究の特色（キーワード）である「共生」「国際」「情報」「奈良文化」に呼応する共生教養科目群、奈良・国際科目群、情報教養科目群、さらに社会的・職業的自立に必要な能力や態度を育むためのキャリア形成科目群の５つの科目群で構成し、専門性にとらわれない幅広い教養と豊かな人間性、社会のニーズや多様な変化に対応するための汎用的能力を培います。

「専門基礎科目」は保健医療専門職として必要な健康の理解に関する科目群、専門科目は、看護学の基本、看護学の展開、看護学の統合と発展に関する３つの科目群で構成し、人間を全人的に理解し高い専門性と創造力、倫理的配慮を備え、他職種と連携して全人的ケアができる看護職者の育成をめざしています。また、専門科目には、保健師養成のための公衆衛生看護学、助産師養成のための助産学に関する各科目群を配置しています。

（4）教育課程の概要

１）共通教育科目（52科目82単位、うち必修は８科目10単位、選択は44科目72単位）

○共通教育科目の履修要件（卒業要件）：25単位以上（必修10単位、選択15単位以上）

①基礎教養科目群（32科目49単位、うち必修は６科目６単位、選択は26科目43単位）

語学、人文科学、社会科学、自然科学、健康スポーツに関連する32科目（49単位）を配置しています。これらの幅広い科目の中から選択受講することにより、論理的・科学的な思考力、的確な判断能力、倫理性、社会性、豊かな表現力、コミュニケーション能力、自然や文化を大切にする心など、幅広い教養と豊かな人間性を主体的な学びにより培います。なお、国際的な視点で学び、世界各地の人々とコミュニケーションをとり活動する上で不可欠な「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」及び保健医療職者として自らが健康的で活動的なライフスタイルを形成するための基礎となる「健康スポーツ（理論）」「健康スポーツ（実技）」の６科目６単位は必修科目としています。

＜基礎教養科目群＞

【必修科目】

「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「健康スポーツ（理論）」

「健康スポーツ（実技）」

【選択科目】

「中国語基礎Ⅰ」「中国語基礎Ⅱ」「中国語会話」「文学」「哲学」「倫理学」「心理学」「行動科学の基礎」「文化人類学」「感性･イメージ表現」「音楽の世界」「社会学」「社会科学の基礎」「日本国憲法」「外国史」「地理学」「数学の世界」「物理と地学の基礎」「環境化学の基礎」「実験と科学」「スポーツ実技Ⅰ」「スポーツ実技Ⅱ」

※以下は留学生のための日本語科目（４科目４単位）を開講する。

「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」「日本語表現Ⅰ」「日本語表現Ⅱ」

②「共生」「奈良・国際」「情報」に呼応する科目群

以下に示す本学の教育･研究の特色（キーワード）である「共生」「奈良･国際」「情報」に呼応する共生教養科目群、奈良・国際科目群、情報教養科目群から、主体的に選択受講することにより、社会のニーズや多様な変化に対応し、人類･社会に貢献するための汎用的能力を培います。

ⅰ）共生教養科目群（４科目８単位、すべて選択）

様々な事象が絡み合った複雑な現代社会の現状を理解した上で、人や集団、自然との共生を実現させる方法及びその問題点について学ぶ科目を配置しています。人と人との共生を学ぶ科目「人権論」、共生を実現するための社会の仕組みについて学ぶ科目「共生と日本社会」、人と自然との共生を学ぶ科目「生活と環境」があるほか､科目「ボランティア活動」を通して共生の実践を学び、他者を支援しながら、幸せを共有できる姿勢を養います。

＜共生教養科目群＞

【選択科目】

「共生と日本社会」「人権論」「ボランティア活動」「生活と環境」

ⅱ）奈良・国際科目群（５科目９単位、うち必修は１科目２単位、選択は４科目７単位）

国際化した現代社会では、様々な社会生活の場面で異文化との交流が必然的に発生します。その交流を積極的に進めるためには、海外及び自国の諸事情を把握し、互いの差異を理解することが必要となります。国際交流を進めていくために必要な準備及び国際交流の実践方法について学びます。特に国際交流の前提として、自らを深く理解するために本学が所在する奈良を重視し、日本人の特質や日本文化の土台を形成した奈良文化について学ぶ「奈良学」は必要不可欠な教養と考え、必修科目として配置しています。その上で自国文化を海外の人々に伝える方法や国際交流を実践する能力を身につけます。また、教科外活動として短期研修プログラム、文化交流、短期留学など、海外に出かけ、国際社会及び異文化を実体験できる機会を設けます。これらの自主的活動についても、活動内容に対応する科目として単位認定を行う場合があります。

＜奈良・国際科目群＞
【必修科目】
「奈良学」
【選択科目】
「国際経済事情」「文化コミュニケーション」「文化芸術交流論」「文化芸術交流演習」

ⅲ）情報教養科目群（５科目10単位、うち必修は１科目２単位、選択は４科目８単位）

高度情報化社会といわれる現代において、安全に、適切に、効率よく、倫理的に正しい方法で、あふれる情報の中から必要な情報を収集し、また自らも情報を処理し、発信していくための基礎的・実践的な情報・コミュニケーション能力を培うための科目を配置しています。特に情報機器の活用能力を身につける「情報機器の操作」を必修科目として配置しています。

＜情報教養科目群＞
【必修科目】
「情報機器の操作」
【選択科目】
「情報倫理とセキュリティ」「シミュレーションの世界」「データの世界」「ＣＧの基礎と演習」

③キャリア形成科目群（６科目６単位、すべて選択）

社会的･職業的自立に必要な能力や態度である人間力、社会人基礎力を育み、学生が主体的に課題を発見し、これを解決する能力を培うための科目を配置しています。

特に、本学部が想定している進路の特徴を加味した独自の教育プログラムを提供するために､複数の専任教員が主として担当する「キャリアデザインⅡ（１年次)」「キャリアディベロップメントⅡ（２年次)」「キャリアスキルアップⅠ（３年次)」「キャリアスキルアップⅡ（４年次)」を順次履修することを強く奨励します。具体的には、自分の将来のキャリアプランに関連し、専門教育課程では直接学ぶことができない、実社会における課題解決型あるいは価値創造型のプロジェクトを主体的に実行することにより、汎用的能力を培うとともに、社会的・職業的自立に必要な人間力、社会人基礎力を段階的に確立できるようにしています。

＜キャリア形成科目群＞
【選択科目】
「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアディベロップメントⅠ」「キャリアディベロップメントⅡ」「キャリアスキルアップⅠ」「キャリアスキルアップⅡ」

２）**専門基礎科目**（24科目31単位､うち必修は17科目21単位､選択は７科目10単位）

○専門基礎科目の履修要件（卒業要件）:24単位以上（必修21単位、選択３単位以上）

①健康の理解に関する科目群

保健医療専門職として必要な健康、医療、福祉に関する理解を深めるための科目を主として１～２年次に配置しています。特に「保健医療学概論」は入学して間もない1年次前期に配置し、看護学、医学、健康科学の専任教員がオムニバス形式で担当することにより、本学部がめざす全人的ケアをふまえた保健医療学の概要について概説します。また、全人的ケアに関連する科目として「心身医療論」「カウンセリング論」「ヘルスプロモーション論」を配置し、主として専任教員が担当します。さらに、保健医療や看護への動機付け及び臨地での基礎看護学実習Ⅰへの導入として、早期に臨床現場を体験する「早期体験演習」を１年前期に配置しています。

＜健康の理解に関する科目群＞

【必修科目】

「保健医療学概論」「早期体験演習」「人体構造学Ⅰ」「人体構造学Ⅱ」「人体機能学Ⅰ」
「人体機能学Ⅱ」「生化学」「薬理学」「病理学」「微生物学」「栄養と食生活」
「疾病治療論Ⅰ」「疾病治療論Ⅱ」「保健学Ⅰ（公衆衛生）」「保健学Ⅱ（疫学）」
「社会福祉学」「医療福祉関係法規」

【選択科目】

「免疫学」「遺伝学」「保健統計」「心身医療論」「カウンセリング論」
「ヘルスプロモーション論」「保健医療福祉行政論」

３）**専門科目**（70科目121単位、うち必修は41科目72単位、選択は29科目49単位）

○専門科目の履修要件（卒業要件）：76単位以上（必修72単位、選択４単位以上）

※選択科目について、基本的に、「看護師課程選択」では、看護学の統合と発展の選択科目９科目９単位のうちから４単位以上を履修します。

①看護学の基本に関する科目群（11科目15単位、すべて必修）

看護の実践能力、自己の啓発能力、人間を尊重し、人間関係を形成しながら健康問題を解決するための能力といった、看護職者として基盤となる能力を学ぶための科目を主として１～２年次に配置しています。また、特に本学部の特色として掲げている全人的ケアに関連する基礎的科目として「チーム医療論」を配置しています。

＜看護学の基本に関する科目群＞

【必修科目】

「看護学概論」「基礎看護技術演習Ⅰ」「基礎看護技術演習Ⅱ」「基礎看護技術演習Ⅲ」「看護理論」「看護過程演習」「ヘルスアセスメント」「チーム医療論」
「保健医療倫理学」「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」

②看護学の展開に関する科目群（18科目38単位、すべて必修）

看護学の基本で学んだ内容をふまえ、科学的根拠に基づく高度な知識・技術

を培い、状況に応じた高度な看護実践を展開することができるようになるための科目を、臨地実習と連動し、主に２～３年次に配置しています。
＜看護学の展開に関する科目群＞
【必修科目】
「成人看護学概論」「成人看護学援助論Ⅰ（急性期・周手術期）」
「成人看護学援助論Ⅱ（慢性期・回復期・終末期）」「老年看護学概論」
「老年看護学援助論」「精神看護学概論」「精神看護学援助論」「小児看護学概論」
「小児看護学援助論」「母性看護学概論」「母性看護学援助論」
「成人看護学実習Ⅰ（急性期・周手術期）」「成人看護学実習Ⅱ（慢性期・回復期・終末期）」
「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」「小児看護学実習」「母性看護学実習」
「精神看護学実習」

③看護学の統合と発展に関する科目群（18科目22単位、うち必修は９科目13単位、選択は９科目９単位）

看護学の基本及び看護学の展開に関する各科目群で学んだことを統合し、さらにそれらのことを発展させ、全人的な健康観に立ち、科学的・客観的な根拠と、人間の主観性や固有の感性、人間関係を大切にする対話に基づき、高い専門性と倫理的配慮、豊かな想像力と国際的な視点を備え、他職種と連携して創造的な全人的ケアの実践ができるようになるための科目を２～４年次に配置しています。特にその特徴的科目として「チーム医療演習」「行動変容アプローチ」「ターミナルケア論」「看護キャリア開発論」「国際保健医療看護論」「国際保健医療看護演習」などを設定しています。また、「統合看護学実習」では、これまでの学修及び看護学の実践の中で見出した自身の課題に基づき、主体的、自律的に実習計画を立て、それを実行する能力を培います。
＜看護学の統合と発展に関する科目群＞
【必修科目】
「在宅看護学概論」「在宅看護学援助論」「在宅看護学実習」「チーム医療演」
「医療安全管理学」「国際保健医療看護論」「統合看護学実習」「卒業研究Ⅰ」
「卒業研究Ⅱ」
【選択科目】
「家族援助論」「行動変容アプローチ」「感染症看護論」「災害看護論」
「ターミナルケア論」「看護キャリア開発論」「保健医療英語Ⅰ」
「保健医療英語Ⅱ（文献講読）」「国際保健医療看護演習」

④公衆衛生看護学に関する科目群（10科目19単位、うち必修は３科目６単位、選択は７科目13単位）

「看護師・保健師課程選択」（20名）では、保健師国家試験受験資格を取得するために必要な科目を「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」に準拠して、地域活動、学校保健、産業保健など、公衆衛生看護に関する講義、演習、実習

などの科目を主に３～４年次に配置しています。
＜公衆衛生看護学に関する科目群＞
【必修科目】
「公衆衛生看護学概論」「公衆衛生看護学Ⅰ（地域活動）」
「公衆衛生看護学Ⅲ（産業保健）」
【選択科目】
「公衆衛生看護学方法論Ⅰ」「公衆衛生看護学方法論Ⅱ」「公衆衛生看護学Ⅱ（学校保健）」
「公衆衛生看護学実習Ⅰ（地域活動）」「公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健）」
「公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）」「公衆衛生看護学診断演習」

⑤ 助産学に関する科目群（13科目27単位、すべて選択）

「看護師・助産師課程選択」（女性のみ10名）では、助産師国家試験受験資格を取得するために必要な科目を「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」に準拠して、助産診断・技術に関する講義、演習、実習を中核とし、ウイメンズヘルスや地域母子保健に関する科目を主に３～４年次に配置しています。
＜助産学に関する科目群＞
【選択科目】
「助産学概論」「ウイメンズヘルス学」「周産期医学」「助産診断・技術学Ⅰ」
「助産診断・技術学Ⅱ」「助産診断・技術学Ⅲ」「助産診断・技術学演習」
「助産診断・技術学実習Ⅰ」「助産診断・技術学実習Ⅱ」「助産診断・技術学実習Ⅲ」
「助産診断・技術学実習Ⅳ」「地域母子保健」「助産管理論」

４．看護学実習の概要

看護学実習は、既習の知識と技術を基に学習する科目で、看護学において実践学習の中心となる科目です。講義で学習した理論と学内における演習を統合し、臨地で実際に対象者を通して看護実践を行い、その経験を通して看護を認識し、自己の看護に対する考えの発見や自覚をしながら、看護観を深めていくことができます。看護の対象者は、多様なレベルの健康障害や個々のニーズをもつ個人・家族・集団です。看護学実習においては、その対象者を生活者の視点で把握し、病院、福祉施設、在宅、地域等それぞれの場における看護の役割や機能を理解し、対象者の個別性に合わせた看護実践を展開する基礎的な能力を取得することを目的とします。

（１）看護学実習の概要と開講時期

看護学の専門領域ごとに以下のとおり1年次から4年次まで段階的に実習を開講します。

１年次：前期の早期体験演習と後期の基礎看護学実習Ⅰをリンクさせて、早期に臨床現場を経験し、将来の自分の姿を想像することで、学習のモチベーションを高めるとともに、看護の対象や役割理解をめざします。

２年次：基礎看護学実習Ⅱとして、臨地で対象者を受け持ち、前期に学内で演習したペーパーペイシェントでの学習を想起し、看護の思考過程を踏みながら看護を実践し、看護について考えます。

３年次：各看護学領域の実習を履修し､基礎から各論へと段階的に学習を深めます。

４年次：統合看護学実習を履修し、基礎、専門基礎、専門分野で学習した既習の知識・技術を統合し、対象の状況に応じて統合・実践し、看護基礎学習を集大成します。保健師または助産師課程選択の学生（３年次に選抜）は公衆衛生看護学実習または助産学・診断技術学実習を選択します。

必修／選択	実習科目	開講時期	単位
必修	早期体験演習	１年次前期	1
	基礎看護学実習　Ⅰ	１年次後期	1
	基礎看護学実習　Ⅱ	２年次集中	2
	成人看護学実習　Ⅰ・Ⅱ	３年次後期	6
	老年看護学実習　Ⅰ・Ⅱ		4
	小児看護学実習		2
	母性看護学実習		2
	精神看護学実習		2
	在宅看護学実習		2
	統合看護学実習	４年次前期	2
選択	公衆衛生看護学実習　Ⅰ～Ⅲ	４年次	5
	助産学・診断技術学実習　Ⅰ～Ⅳ		11

（２）看護学実習要綱

看護学実習に関する全体的な内容は実習要綱に示し、１年次から継続して実習教育を行います。また、各看護学実習における手引きである看護学実習要項を用いて、事前オリエンテーションや実習中の学習の指標として活用します。

（３）看護学実習の評価

看護学実習の評価は、実習終了後に行い、臨地実習指導者の意見を参考にし、各科目の担当教員が責任をもって行います。評価は､各科目の実習目標の到達度、実習態度などに関する評価項目を総合して判断します。単位認定は、実習要綱に示すとおり、秀、優、良、可、不可をもって表し、可以上を合格とします。

（４）実習中の事故防止と対処

①自己の体調に留意し、健康管理に努めます。

②専門基礎科目、専門科目において事故発生リスクに関する知識を習得します。

③保健医療チームの一員としての自覚を持ち、報告・連絡・相談に努め、指導者

の助言・助力を受けることが重要です。事故発生時は、速やかに臨地実習指導者および担当教員に報告し、指示に従って対応します。

※入学時には、事故発生時の保障のために、学生全員が保険（総合保障保険WILL) に加入します。

（5）感染防止

定期健康診断時（４月）に胸部エックス線と HB ウイスル（B 型肝炎）の検査を行います。１年生のみ麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価、結核感染の有無を調べます。

①麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体価について

・陰性（－）および偽陽性（±）である学生は、ワクチン接種を受けてください。

なお、持病や体質などによりワクチン接種ができない学生は、必ず学生支援センターに申し出てください。

・ワクチン接種は、早期体験演習が始まる１か月前までに済ませてください。

接種後は、接種したことがわかるもの（医療明細書や母子健康手帳の写し）を速やかに学生支援センターまで提出してください。

②結核感染の有無について

検査結果が「陽性」、あるいは「判定不能」の学生は、呼吸器専門の病院を受診し診察や再検査を受けてください。

③ＨＢウイルス（Ｂ型肝炎）について

・ＨＢウイルス陰性（－）の学生はワクチン接種を受けてください。

※ＨＢウイルスのワクチンは、３回の接種が必要で、終了までに約７か月要します。

このため計画的にワクチンを接種してください。

④インフルエンザについて

感染予防対策としてワクチンの接種を奨励します。

5．保健医療学部　看護学科　授業科目表

科目区分		授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	配当年次 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	時間数	卒業に必要な単位数
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1		1前	●								30	25単位以上（必修10単位を含む）
		英語Ⅱ	1		1後		●							30	
		英会話Ⅰ	1		1前	●								30	
		英会話Ⅱ	1		1後		●							30	
		中国語基礎Ⅰ		1	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		中国語基礎Ⅱ		1	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		中国語会話		1	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		日本語Ⅰ		1	1前	○								30	
		日本語Ⅱ		1	1後		○							30	
		日本語表現Ⅰ		1	2前			○						30	
		日本語表現Ⅱ		1	2後				○					30	
		文学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		哲学		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		倫理学		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		心理学		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		行動科学の基礎		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		文化人類学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		感性・イメージ表現		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		音楽の世界		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		社会学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		社会科学の基礎		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		日本国憲法		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		外国史		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		地理学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		数学の世界		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		物理と地学の基礎		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		環境化学の基礎		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		実験と科学		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		健康スポーツ（理論）	1		1･2･3･4前	●		●		●		●		15	
		健康スポーツ（実技）	1		1･2･3･4後		●		●		●		●	30	
		スポーツ実技Ⅰ		1	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		スポーツ実技Ⅱ		1	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
	共生教養	共生と日本社会		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		人権論		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		ボランティア活動		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		生活と環境		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
	奈良・国際	奈良学	2		1･2･3･4前	●		●		●		●		30	
		文化コミュニケーション		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		文化芸術交流論		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		文化芸術交流演習		1	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		国際経済事情		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
	情報教養	情報機器の操作	2		1･2･3･4前	●		●		●		●		30	
		情報倫理とセキュリティ		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		シミュレーションの世界		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
		データの世界		2	1･2･3･4前	○		○		○		○		30	
		ＣＧの基礎と演習		2	1･2･3･4後		○		○		○		○	30	
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ		1	1前	○								30	
		キャリアデザインⅡ		1	1前	○								30	
		キャリアディベロップメントⅠ		1	2前			○						30	
		キャリアディベロップメントⅡ		1	2前			○						30	
		キャリアスキルアップⅠ		1	3前					○				30	
		キャリアスキルアップⅡ		1	4前							○		30	
小計（52科目）　25単位以上			10	72	－										

※「中国語基礎Ⅱ」は「中国語基礎Ⅰ」を修得した者のみが履修できる。
※「文化芸術交流演習」は「文化芸術交流論」を修得した者のみが履修できる。
※「キャリアディベロップメントⅡ」は「キャリアデザインⅡ」を、
「キャリアスキルアップⅠ」は「キャリアディベロップメントⅡ」を、
「キャリアスキルアップⅡ」は「キャリアスキルアップⅠ」を取得した者のみが履修できる。

科目区分		授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	配当年次 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	時間数	卒業に必要な単位数
専門基礎科目	健康の理解	保健医療学概論	1		1前	●								15	24単位以上（必修21単位を含む）
		早期体験演習	1		1前	●								30	
		人体構造学Ⅰ	1		1前	●								30	
		人体構造学Ⅱ	1		1後		●							30	
		人体機能学Ⅰ	1		1前	●								30	
		人体機能学Ⅱ	1		1後		●							30	
		生化学	1		1前	●								15	
		薬理学	2		1後		●							30	
		免疫学		1	2前			○						15	
		病理学	1		1後		●							15	
		微生物学	1		1後		●							30	
		遺伝学		1	2前			○						15	
		栄養と食生活	1		1前	●								30	
		疾病治療論Ⅰ	1		2前			●						30	
		疾病治療論Ⅱ	2		2後				●					60	
		保健学Ⅰ（公衆衛生）	1		2前			●						15	
		保健学Ⅱ（疫学）	2		2後				●					30	
		保健統計		2	3前					○				30	
		心身医療論		1	2後				○					15	
		カウンセリング論		1	2後				○					15	
		ヘルスプロモーション論		2	2前			○						30	
		社会福祉学	1		2前			●						15	
		医療福祉関係法規	2		2前			●						30	
		保健医療福祉行政論		2	3前					○				30	
	小計（24科目） 24単位以上		21	10	―										
	看護学の基本	看護学概論	2		1前	●								30	
		基礎看護技術演習Ⅰ	2		1後		●							60	
		基礎看護技術演習Ⅱ	2		2前			●						60	
		基礎看護技術演習Ⅲ	1		2前			●						30	
		看護理論	1		1後		●							15	
		看護過程演習	1		2前			●						30	
		ヘルスアセスメント	1		2前			●						15	
		チーム医療論	1		1後		●							15	
		保健医療倫理学	1		1後		●							15	
		基礎看護学実習Ⅰ	1		1後		●							45	
		基礎看護学実習Ⅱ	2		2前			●						90	
	看護学の展開	成人看護学概論	2		2前			●						30	
		成人看護学援助論Ⅰ（急性期・周手術期）	2		2後				●					30	
		成人看護学援助論Ⅱ（慢性期・回復期・終末期）	2		3前					●				30	
		老年看護学概論	2		2後				●					30	
		老年看護学援助論	2		3前					●				30	
		小児看護学概論	2		2後				●					30	
		小児看護学援助論	2		3前					●				30	
		母性看護学概論	2		2後				●					30	
		母性看護学援助論	2		3前					●				30	
		精神看護学概論	2		2後				●					30	
		精神看護学援助論	2		3前					●				30	
		成人看護学実習Ⅰ（急性期・周手術期）	3		3後						●			135	
		成人看護学実習Ⅱ（慢性期・回復期・終末期）	3		3後						●			135	
		老年看護学実習Ⅰ	2		3後						●			90	
		老年看護学実習Ⅱ	2		3後						●			90	
		小児看護学実習	2		3後						●			90	
		母性看護学実習	2		3後						●			90	
		精神看護学実習	2		3後						●			90	

科目区分		授業科目の名称	単位数 必修	単位数 選択	配当年次	配当年次 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	時間数	卒業に必要な単位数
専門科目	看護学の統合と発展	在宅看護学概論	2		2後				●					30	76単位以上（必修72単位を含む）
		在宅看護学援助論	2		3前					●				30	
		在宅看護学実習	2		3後						●			90	
		家族援助論		1	2前			○						15	
		行動変容アプローチ		1	3前					○				30	
		チーム医療演習	1		4後								●	30	
		感染症看護論		1	4前							○		15	
		災害看護論		1	4後								○	15	
		ターミナルケア論		1	4後								○	15	
		医療安全管理学	1		4後								●	15	
		看護キャリア開発論		1	4後								○	15	
		保健医療英語Ⅰ		1	2後				○					30	
		保健医療英語Ⅱ（文献講読）		1	4前							○		30	
		国際保健医療看護論	1		4前							●		15	
		国際保健医療看護演習		1	4前							○		30	
		統合看護学実習	2		4前							●		90	
		卒業研究Ⅰ	1		4前							●		15	
		卒業研究Ⅱ	1		4前後							●	●	30	
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2		2前			●						30	
		公衆衛生看護学方法論Ⅰ		2	3前					○				30	
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ		2	3前					○				30	
		公衆衛生看護学Ⅰ（地域活動）	2		2後				●					30	
		公衆衛生看護学Ⅱ（学校保健）		2	3前					○				30	
		公衆衛生看護学Ⅲ（産業保健）	2		3前					●				30	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ（地域活動）		3	4通							○	○	135	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健）		1	4前							○		45	
		公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）		1	4前							○		45	
		公衆衛生看護学診断演習		2	4前							○		60	
	助産学	助産学概論		2	3前					○				30	
		ウイメンズヘルス学		2	3前					○				30	
		周産期医学		1	3前					○				15	
		助産診断・技術学Ⅰ		2	3前					○				30	
		助産診断・技術学Ⅱ		2	3後						○			30	
		助産診断・技術学Ⅲ		2	3後						○			30	
		助産診断・技術学演習		2	4前							○		60	
		助産診断・技術学実習Ⅰ		3	4通							○	○	135	
		助産診断・技術学実習Ⅱ		2	4通							○	○	90	
		助産診断・技術学実習Ⅲ		3	4通							○	○	135	
		助産診断・技術学実習Ⅳ		3	4通							○	○	135	
		地域母子保健		1	4前							○		15	
		助産管理論		2	4前							○		30	
	小計（70科目） 76単位以上		72	49	－										
合計（146科目） 125単位以上			103	131	－	●…必修 ○…選択									

６．保健医療学部　看護学科　課程選択別履修モデル

課程選択別の３つの履修モデルを別表に示しましたので参考にしてください。

履修モデル１は「看護師過程選択」のモデルで、国際理解に関する科目を多く履修し、国際的な視野に立って社会に貢献できる質の高い看護師をめざします。また、キャリア形成科目を多く履修し、社会的・職業的自立に必要な人間力、社会人基礎力をそなえた汎用的能力の高い看護師をめざします。

履修モデル２は「看護師・保健師課程選択」のモデルで、看護師に加えて保健師をめざします。さらに養護教諭二種免許状の取得も可能となっています。

履修モデル３は「看護師・助産師課程選択」のモデルで、看護師に加えて助産師をめざします。

履修モデル２及び履修モデル３では、３年次以降は履修すべき科目が多いですが、１～２年次は、「看護師課程選択」と同様に、多彩な共通教育科目の中から自らの志向により科目を選択履修でき、幅広い教養と豊かな人間性、変化に対応できる汎用的能力など確かな学士力を養うことが可能となっています。

■看護師課程選択　履修モデル

科目		1年生 ＜前　期＞ 科　目	単位	区分	1年生 ＜後　期＞ 科　目	単位	区分	2年生 ＜前　期＞ 科　目	単位	区分	2年生 ＜後　期＞ 科　目	単位	区分	3年生 ＜前　期＞ 科　目	単位	区分	3年生 ＜後　期＞ 科　目	単位	区分	4年生 ＜前　期＞ 科　目	単位	区分	4年生 ＜後　期＞ 科　目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																			9	25	必修10単位 選択15単位 合計25単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		中国語会話	1	選	行動科学の基礎	2	選																					
		健康ｽﾎﾟｰﾂ(理論)	1	必	健康ｽﾎﾟｰﾂ(実技)	1	必																					
	教養 共生	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動	2	選																						2		
	教養 奈良・国際	奈良学	2	必	国際経済事情	2	選																			7		
		文化芸術交流論	2	選	文化芸術交流演習(集中)	1	選																					
	教養 情報	情報機器の操作	2	必																						2		
	キャリア形成	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	1	選				ｷｬﾘｱﾃﾞｨﾍﾞﾛｯﾌﾟﾒﾝﾄⅡ	1	選				ｷｬﾘｱｽｷﾙｱｯﾌﾟ Ⅰ	1	選				ｷｬﾘｱｽｷﾙｱｯﾌﾟ Ⅱ	1	選				5		
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	1	選																								
専門基礎科目	健康の理解	保健医療学概論	1	必	人体構造学Ⅱ	1	必	免疫学	1	選	疾病治療論Ⅱ	2	必													24		必修21単位 選択3単位 合計24単位以上
		早期体験演習(集中)	1	必	人体機能学Ⅱ	1	必	疾病治療論Ⅰ	1	必	保健学Ⅱ(疫学)	2	必															
		人体構造学Ⅰ	1	必	薬理学	2	必	保健学Ⅰ(公衆衛生)	1	必																		
		人体機能学Ⅰ	1	必	病理学	1	必	社会福祉学	1	必																		
		生化学	1	必	微生物学	1	必	医療福祉関係法規	2	必																		
		栄養と食生活	1	必				ﾍﾙｽﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ論	2	選																		
専門科目	看護学の基本	看護学概論	2	必	基礎看護技術演習Ⅰ	2	必	基礎看護技術演習Ⅱ	2	必																15	76	必修72単位 選択4単位 合計76単位以上
					看護理論	1	必	基礎看護技術演習Ⅲ	1	必																		
					保健医療倫理学	1	必	看護過程演習	1	必																		
					基礎看護学実習Ⅰ(集中)	1	必	ﾍﾙｽｱｾｽﾒﾝﾄ	1	必																		
					チーム医療論	1	必	基礎看護学実習Ⅱ(集中)	2	必																		
	看護学の展開							成人看護学概論	2	必	成人看護学援助論Ⅰ	2	必	成人看護学援助論Ⅱ	2	必	成人看護学実習Ⅰ(集中)	3	必							38		
											老年看護学概論	2	必	老年看護学援助論	2	必	成人看護学実習Ⅱ(集中)	3	必									
											精神看護学概論	2	必	精神看護学援助論	2	必	老年看護学実習Ⅰ(集中)	2	必									
											小児看護学概論	2	必	小児看護学援助論	2	必	老年看護学実習Ⅱ(集中)	2	必									
											母性看護学概論	2	必	母性看護学援助論	2	必	小児看護学実習(集中)	2	必									
																	母性看護学実習(集中)	2	必									
																	精神看護学実習(集中)	2	必									
	看護学の統合と発展										在宅看護学概論	2	必	在宅看護学援助論	2	必	在宅看護学実習(集中)	2	必	国際保健医療看護論	1	必	災害看護論	1	選	17		
											保健医療英語Ⅰ	1	選							国際保健医療看護演習(集中)	1	選	医療安全管理学	1	必			
																				統合看護学実習(集中)	2	必	ﾁｰﾑ医療演習	1	必			
																				卒業研究Ⅰ	1	必	卒業研究Ⅱ	1	必			
																							看護キャリア開発論	1	選			
	公衆衛生看護学							公衆衛生看護学概論	2	必	公衆衛生看護学Ⅰ	2	必	公衆衛生看護学Ⅲ	2	必										6		
共通		必修	7	14	必修	3	8	必修	0	1	必修	0	0	必修	0	1	必修	0	0	必修	0	1	必修	0	0	必 10	25	必修103単位 選択 22単位 合計125単位以上
		選択	7		選択	5		選択	1		選択	0		選択	1		選択	0		選択	1		選択	0		選 15		
専門基礎		必修	6	6	必修	6	6	必修	5	8	必修	4	4	必修	0	0	必修	0	0	必修	0	0	必修	0	0	必 21	24	
		選択	0		選択	0		選択	3		選択	0		選択	0		選択	0		選択	0		選択	0		選 3		
専門		必修	2	2	必修	6	6	必修	11	11	必修	14	15	必修	14	14	必修	18	18	必修	4	5	必修	3	5	必 72	76	
		選択	0		選択	0		選択	0		選択	1		選択	0		選択	0		選択	1		選択	2		選 4		
合計		**必修**	**15**	**22**	**必修**	**15**	**20**	**必修**	**16**	**20**	**必修**	**18**	**19**	**必修**	**14**	**15**	**必修**	**18**	**18**	**必修**	**4**	**6**	**必修**	**3**	**5**	**必 103**	**125**	
		選択	**7**		**選択**	**5**		**選択**	**4**		**選択**	**1**		**選択**	**1**		**選択**	**0**		**選択**	**2**		**選択**	**2**		**選 22**		
		必修30　選択12　合計42						**必修34　選択5　合計39**						**必修32　選択1　合計33**						**必修7　選択4　合計11**						必修103選択22合計125		

■看護師・保健師課程選択　履修モデル

科目		1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																			12	25	必修10単位 選択15単位 合計25単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		日本国憲法	2	選	行動科学の基礎	2	選																					
		健康ｽﾎﾟｰﾂ(理論)	1	必	環境化学の基礎	2	選																					
					健康ｽﾎﾟｰﾂ(実技)	1	必																					
	共生教養	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動	2	選	共生と日本社会	2	選																			4		
	国際・奈良	奈良学	2	必																						2		
	情報教養	情報機器の操作	2	必	ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝの世界	2	選																			4		
	キャリア形成	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	1	選				ｷｬﾘｱﾃﾞｨﾍﾞﾛｯﾌﾟﾒﾝﾄⅡ	1	選																3		
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	1	選																								
専門基礎科目	健康の理解	保健医療学概論	1	必	人体構造学Ⅱ	1	必	疾病治療論Ⅰ	1	必	疾病治療論Ⅱ	2	必	保健統計	2	選										25		必修21単位 選択3単位 合計24単位以上
		早期体験演習(集中)	1	必	人体機能学Ⅱ	1	必	保健学Ⅰ(公衆衛生)	1	必	保健学Ⅱ(疫学)	2	必	保健医療福祉行政論	2	選												
		人体構造学Ⅰ	1	必	薬理学	2	必	社会福祉学	1	必																		
		人体機能学Ⅰ	1	必	病理学	1	必	医療福祉関係法規	2	必																		
		生化学	1	必	微生物学	1	必																					
		栄養と食生活	1	必																								
専門科目	看護学の基本	看護学概論	2	必	基礎看護技術演習Ⅰ	2	必	基礎看護技術演習Ⅱ	2	必																15	85	必修72単位 選択4単位 合計76単位以上
					看護理論	1	必	基礎看護技術演習Ⅲ	1	必																		
					保健医療倫理学	1	必	看護過程演習	1	必																		
					基礎看護学実習Ⅰ(集中)	1	必	ﾍﾙｽｱｾｽﾒﾝﾄ	1	必																		
					ﾁｰﾑ医療論	1	必	基礎看護学実習Ⅱ(集中)	2	必																		
	看護学の展開							成人看護学概論	2	必	成人看護学援助論Ⅰ	2	必	成人看護学援助論Ⅱ	2	必	成人看護学実習Ⅰ(集中)	3	必							38		
											老年看護学概論	2	必	老年看護学援助論	2	必	成人看護学実習Ⅱ(集中)	3	必									
											精神看護学概論	2	必	精神看護学援助論	2	必	老年看護学実習Ⅰ(集中)	2	必									
											小児看護学概論	2	必	小児看護学援助論	2	必	老年看護学実習Ⅱ(集中)	2	必									
											母性看護学概論	2	必	母性看護学援助論	2	必	小児看護学実習(集中)	2	必									
																	母性看護学実習(集中)	2	必									
																	精神看護学実習(集中)	2	必									
	看護学の統合と発展										在宅看護学概論	2	必	在宅看護学援助論	2	必	在宅看護学実習(集中)	2	必	国際保健医療看護論	1	必	ﾁｰﾑ医療演習	1	必	13		
																				統合看護学実習(集中)	2	必	医療安全管理学	1	必			
																				卒業研究Ⅰ	1	必	卒業研究Ⅱ	1	必			
	公衆衛生看護学							公衆衛生看護学概論	2	必	公衆衛生看護学Ⅰ	2	必	公衆衛生看護学Ⅱ	2	選				公衆衛生看護学実習Ⅰ(集中)	3	選				19		
														公衆衛生看護学Ⅲ	2	必				公衆衛生看護学実習Ⅱ(集中)	1	選						
														公衆衛生看護学方法論Ⅰ	2	選				公衆衛生看護学実習Ⅲ(集中)	1	選						
														公衆衛生看護学方法論Ⅱ	2	選				公衆衛生看護学診断演習	2	選						

共通	必修	7	13	必修	3	11	必修	0	1	必修	0	0	必修	0	0	必修	0	0	必修	0	0	必修	0	0	必	10	25	必修103単位 選択 22単位 合計125単位以上
	選択	6		選択	8		選択	1		選択	0		選択	0		選択	0		選択	0		選択	0		選	15		
専門基礎	必修	6	6	必修	6	6	必修	5	5	必修	4	4	必修	0	4	必修	0	0	必修	0	0	必修	0	0	必	21	25	
	選択	0		選択	0		選択	0		選択	0		選択	4		選択	0		選択	0		選択	0		選	4		
専門	必修	2	2	必修	6	6	必修	11	11	必修	14	14	必修	14	20	必修	18	18	必修	4	11	必修	3	3	必	72	85	
	選択	0		選択	0		選択	0		選択	0		選択	6		選択	0		選択	7		選択	0		選	13		
合計	**必修**	**15**	**21**	**必修**	**15**	**23**	**必修**	**16**	**17**	**必修**	**18**	**18**	**必修**	**14**	**24**	**必修**	**18**	**18**	**必修**	**4**	**11**	**必修**	**3**	**3**	**必**	**103**	**135**	
	選択	**6**		**選択**	**8**		**選択**	**1**		**選択**	**0**		**選択**	**10**		**選択**	**0**		**選択**	**7**		**選択**	**0**		**選**	**32**		
	必修30　選択14　合計44						**必修34　選択1　合計35**						**必修32　選択10　合計42**						**必修7　選択7　合計14**						必修103選択32合計135			

■看護師・助産師課程選択　履修モデル

科目		1年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	1年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	2年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	3年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜前期＞ 科目	単位	区分	4年生 ＜後期＞ 科目	単位	区分	単位		卒業要件
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1	必	英語Ⅱ	1	必																			10	25	必修10単位 選択15単位 合計25単位以上
		英会話Ⅰ	1	必	英会話Ⅱ	1	必																					
		健康ｽﾎﾟｰﾂ(理論)	1	必	感性・ｲﾒｰｼﾞ表現	2	選																					
					行動科学の基礎	2	選																					
					健康ｽﾎﾟｰﾂ(実技)	1	必																					
	教養 共生	生活と環境	2	選	共生と日本社会	2	選																			4		
	国際 奈良・	奈良学	2	必	文化芸術交流演習(集中)	1	選																			5		
		文化芸術交流論	2	選																								
	教養 情報	情報機器の操作	2	必	ＣＧの基礎と演習	2	選																			4		
	キャリア形成	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅡ	1	選																						2		
		ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝⅠ	1	選																								
専門基礎科目	健康の理解	保健医療学概論	1	必	人体構造学Ⅱ	1	必	疾病治療論Ⅰ	1	必	疾病治療論Ⅱ	2	必													24		必修21単位 選択3単位 合計24単位以上
		早期体験演習(集中)	1	必	人体機能学Ⅱ	1	必	保健学Ⅰ(公衆衛生)	1	必	保健学Ⅱ(疫学)	2	必															
		人体構造学Ⅰ	1	必	薬理学	2	必	社会福祉学	1	必	心身医療論	2	選															
		人体機能学Ⅰ	1	必	病理学	1	必	医療福祉関係法規	2	必																		
		生化学	1	必	微生物学	1	必	遺伝学	1	選																		
		栄養と食生活	1	必																								
専門科目	看護学の基本	看護学概論	2	必	基礎看護技術演習Ⅰ	2	必	基礎看護技術演習Ⅱ	2	必																15	72	必修72単位 選択4単位 合計76単位以上
					看護理論	1	必	基礎看護技術演習Ⅲ	1	必																		
					保健医療倫理学	1	必	看護過程演習	1	必																		
					基礎看護学実習Ⅰ(集中)	1	必	ﾍﾙｽｱｾｽﾒﾝﾄ	1	必																		
					ﾁｰﾑ医療論	1	必	基礎看護学実習Ⅱ(集中)	2	必																		
	看護学の展開							成人看護学概論	2	必	成人看護学援助論Ⅰ	2	必	成人看護学援助論Ⅱ	2	必	成人看護学実習Ⅰ(集中)	3	必							38		
											老年看護学概論	2	必	老年看護学援助論	2	必	成人看護学実習Ⅱ(集中)	3	必									
											精神看護学概論	2	必	精神看護学援助論	2	必	老年看護学実習Ⅰ(集中)	2	必									
											小児看護学概論	2	必	小児看護学援助論	2	必	老年看護学実習Ⅱ(集中)	2	必									
											母性看護学概論	2	必	母性看護学援助論	2	必	小児看護学実習(集中)	2	必									
																	母性看護学実習(集中)	2	必									
																	精神看護学実習(集中)	2	必									
	統合と発展 看護学の										在宅看護学概論	2	必	在宅看護学援助論	2	必	在宅看護学実習(集中)	2	必	国際保健医療看護論	1	必	医療安全管理学	1	必	13		
																				統合看護学実習(集中)	2	必	ﾁｰﾑ医療演習	1	必			
																				卒業研究Ⅰ	1	必						
																				卒業研究Ⅱ(集中)通年				1	必			
	看護学 公衆衛生							公衆衛生看護学概論	2	必	公衆衛生看護学Ⅰ	2	必	公衆衛生看護学Ⅲ	2	必										6		
	助産学													助産学概論	2	選				助産診断・技術学演習	2	選				27	27	
														ｳｨﾒﾝｽﾞﾍﾙｽ学	2	選				助産診断・技術学実習Ⅰ				3	選			
														周産期医学	1	選				助産診断・技術学実習Ⅱ				2	選			
														助産診断・技術学Ⅰ	2	選				助産診断・技術学実習Ⅲ				3	選			
														助産診断・技術学Ⅱ				2	選	助産診断・技術学実習Ⅳ				3	選			
														助産診断・技術学Ⅲ				2	選	地域母子保健	1	選						
																				助産管理論	2	選						
共通		必修 7	13		必修 3	12		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必 10	25	必修103単位 選択 22単位 合計125単位以上
		選択 6			選択 9			選択 0			選択 0			選択 0			選択 0			選択 0			選択 0			選 15		
専門基礎		必修 6	6		必修 6	6		必修 5	6		必修 4	6		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必修 0	0		必 21	24	
		選択 0			選択 0			選択 1			選択 2			選択 0			選択 0			選択 0			選択 0			選 3		
専門		必修 2	2		必修 6	6		必修 11	11		必修 14	14		必修 14	21		必修 18	22		必修 4	9		必修 3	14		必 72	99	
		選択 0			選択 0			選択 0			選択 0			選択 7			選択 4			選択 5			選択 11			選 27		
合計		必修 15	21		必修 15	24		必修 16	17		必修 18	20		必修 14	21		必修 18	22		必修 4	9		必修 3	14		必 103	148	
		選択 6			選択 9			選択 1			選択 2			選択 7			選択 4			選択 5			選択 11			選 45		
		必修30　選択15　合計45						必修34　選択3　合計37						必修32　選択11　合計43						必修7　選択16　合計23						必修103選択45合計148		

奈良学園大学
NARAGAKUEN UNIVERSITY
〒631−8524　奈良市中登美ヶ丘3丁目15−1
TEL 0742−95−9800　FAX 0742−95−9850